

## 研究講習事業報告

学発番号: 学21-19★(日臨技推進事業)  
事業名: チーム医療研究班 第2回R-CPC (Web症例検討会)  
日時: 令和3年10月28日(木) 18:30～20:30  
場所: Web開催  
主題1: R-CPC 検査結果から見えるもの～急性腹症～  
症例提示者 横山 健輔技師(京都桂病院)  
パネリスト① 坂本 竜也技師(京都市立病院)  
パネリスト② 小城 勇仁技師(京都大学医学部附属病院)  
参加数: 総数:45名(京臨技会員:35名)  
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

### 以下、講演内容など

検査データと簡単な患者情報のみから病態を読み解いていくR-CPC、第2回目は「急性腹症」をテーマに2症例を2人のパネリストとともに読み解きました。それぞれ平素は生理検査と検体検査をされている方で、それぞれの分野の視点で病態を読み解いていくプロセスは大変興味深く勉強になりました。また患者の病態は複数の基礎疾患を持つ場合もあり典型的なパターンを示さないこともあるので、より多くの疾患を知ることによって自分の中での選択肢を増やすことができると感じました。生理・臨床化学・血液学など総合的な臨床検査の知識をフル稼働して勉強できる大変良い研修会でした。